

Ⅵ 荏本孝久先生塾長退任記念感謝の集い

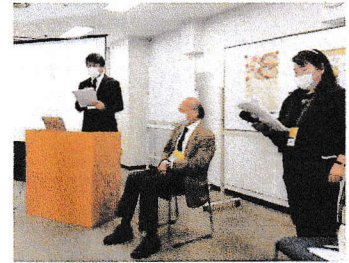
2021年12月17日14時～17時

総合司会：山田美智子さん

桜木町びおシティ6階「さくらリビング 第1研修室」

【開会の挨拶】 鷲山龍太郎塾長

荏本先生から塾長を引き継いだ鷲山龍太郎です。今日は15年務めた塾長が退任された塾長退任記念講演として開催しました。現役大学教授は多忙を極めますが、学生の指導、授業の合間にだるまを盛り立てていただき、奇跡的に継続してきました。とてもうれしいことに、名誉塾長という立場で残っていただけますので、指導者、助言者、仲間として活動していただけるのではないかと期待しています。



お手元に届けた活動の記録は、会員の思いが結集して、短期間で形になりました。

【第1部】記念講演 演題「市民と共に七転び八起き」

～正しく恐れて 賢く生きる～

講師 荏本孝久 防災塾・だるま名誉塾長「神奈川大学工学部 教授」

【荏本先生 初めに】

今日のような会合を作っていただき、感謝しています。皆様方と一緒にやってきた内容をもう一度、思い返していただくことでお聞きいただければと思っています。



特に訴えたいのは、災害と社会構造が本当に変わってきて、それに対応する仕方も本来は変わるべきなのかもしれないが、住民レベルからするとそんなに大きなことはできない。基本に根ざして地道に活動するのが正解だと思ってずっと続けてきたが、新型コロナウイルスや気候変動などグローバルに考えなければならぬことも増えている。

来年3月に定年で神奈川大学を退職するので、だるまを新しい方に引継ぎ退任をさせていただくことにした。いろんな思いがあるが、その一端を共有していきたい。

【荏本先生講演要旨】

今日は「市民とともに七転び八起き」というテーマで、15年程前に始まった「防災塾だるまの設立経緯」として、その当時に思い立ったことをお話しさせていただきたいと思います。

1995年の阪神大震災のショックが非常に大きくハードのインフラ被害が目立って、都市の機能が消失し、どうしようもない状況で市民が右往左往していました。事前に震災について考えておくことが重要だと思いました。特にソフト面での震災対策が重要で、直後の近隣の救出活動、避難所の運営、復旧復興、ボランティアの支援、まちづくりコーディネーター、地域住民の自助共助の重要性などが社会で言われていましたが、それが決定的に欠けていると思いました。多くの人々が都市に集まって高齢化が急激に進展し、独居老人、障害者、外国人も増えて複雑化している。情報化の進展で生活の環境が急速に様変わりし

ています。行政レベルの防災活動と市民レベルの防災活動が融合されることなく、防災情報の共有化が行われていない。何とか、大きな地震が起こる前に防災情報の共有化と人的ネットワークを作らないと大変なことになると感じました。それが「防災塾・だるま」の設立経緯でした。

それでハード・ソフト融合型の災害リスクマネジメントを進めようと、学術フロンティア研究計画のプロジェクトを2006-09年に申請して、補助金を頂きました。それを原資として研究体制を作って、いろんな方と力を合わせてプロジェクトを進めようと考えていました。

2005年に神奈川区主催の「地域まちづくり」の全7回の講座から動き出しました。以降、例会、談義の会、見学会、講座、防災ギャザリングなどのイベントの開催・参加。そして県内に出向いての講演会開催。だるまの方と被災地を訪れたり、だるまの会員が作ったゲームの公開とか。3.11の被災地を巡る企画もして、現地の方との話し合いも行いました。被災地に行き、話を聞くのは防災活動に非常に大きなインセンティブを与える重要な取り組みであり、「神戸 1.17の集い」にも多数回参加してきました。



2014年に震災対策技術展が横浜で開催され、地震工学会の主催で「だるま」について話をする機会がありました。この時のポイントは、神戸の経験もあって地域防災活動の重要性、それが決定的に欠けているため「防災塾・だるま」のような活動を通じて、地域防災活動を進めていると紹介したのがこのときの講演会の内容でした。

そんなことで私としては、「防災塾・だるま」の位置づけは大きい。住民の方と一緒に、住民レベルの防災活動を広げていくことは、メジャーな研究体制として取り組むには難しい面もあったが、何とかこじ開けて研究活動としての成果を集約・還元することを考えました。「防災塾・だるま」は、珍しい研究だと社会的にも着目され、会員数も増えてマスコミにも取り上げられて活動が急激に拡がりました。住民の方はもとより、行政、メディア、学校、企業、団体に働く多くの方々に支えられて育てられたと思います。最初の5年間のプロジェクトの後も「地域防災対策支援プロジェクト」や「かながわ人と智の防災・減災ネットワーク」とも連携して活動を模索してきました。残念なことに、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の影響でやや活動が低下していますが、復活が近いことを願っています。初心忘るべからず。住民主体の防災対策は重要で、ハードな防災対策も大事だがソフトな防災対策はより大切で、災害対応には“これをやるしかない”と思っています。今後、鷺山新塾長の元で、新しく新鮮な取り組みと活動への展開を期待しています。

【第2部】来賓のご挨拶

司会 山田美智子さん

杉原顧問： 現職時には、地震想定、検証、復興などいろんな委員会でご助けていただいた。東日本大震災が起きて、岩楯先生と一緒に現地に、印象が強く、私自身の活動にもだいぶ影響を与えた。先生の研究のワークショップでスペイン、メキシコにも連れて行っていただいた。だるまでは、たまに顔を出すと快く迎え入れて



いただいた。退官されても、名誉塾長で残られるぜひこれからもよろしくお願いします。

岩橋先生： 皆さんの先頭に立って邁進されたことに感謝。

都立大の土木工学の同窓で、一緒に微動観測をやってきた。荏本さんはスペインのアルメニア大学との共同研究で私も参加。中国とも国際交流を行ってきている。阪神淡路、東日本、熊本。インドの地震、オークランド国際会議も一緒にした。

中川顧問： 関東大震災から100年、次の100年に向かって、気が付いたことに責任をもって取り組んでいくことだ。荏本先生は退職により裏方にまわるので、各面で協力願いたい。県全域の今できているネットワークを充実していただきたい。特に「人と智ネット」をもう少し動くようにして、だるまも緩く楽に動けるようにしていくことを期待しています。

落合先生： 荏本先生のところで働いている。一歩引いていたが、退任をするということだ、だるまに入らせていただきました。

高梨さん： 神奈川県地震被害想定を昭和時代から担当。文科省の地域防災支援プロジェクトを神奈川でと、データベース、人と研究者、市民などをつないでネットワークを作ることとしました。研究終了後「人と智」を作って引き継いでいる。荏本先生の知恵をお借り出来ればと思っています。



石垣さん： 内閣府防災において、市民防災が大事だと確信するようになりました。京都大学に社会人入学し、東日本で避難の議論が、西日本豪雨でも起きており、疑問を持ちました。災害のたびに役所は観測と予報の高度化、伝達ツールなど工学的な対応が中心になります。住民アンケートでは、避難理由が家族や近所、町内会役員、消防団などの声かけ、地域コミュニティの声かけが非常に大きい、また、地元横浜の防災に関心があります。

第3部. 車座 談義 「参加者から一言」 ～「だるま」の思い出とこれから～

参加者全員から一言ずつ発表頂きました。皆さん久しぶりの会合、また新しい塾長、後任の落合さん、人と智の高梨さん、国の元防災担当の石垣さんとの交流にもなりました。

○だるまの活動での感想

- ・ 専門家から身近に色々な話が聞け事実がわかりました。
- ・ 被災地を見て「百聞は一見にしかず」でした。
- ・ この経験を自分の活動に役立てています。



○荏本先生との活動に感謝

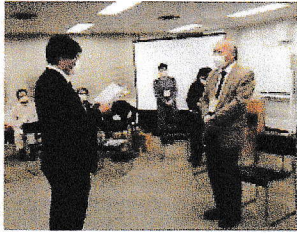
- ・ だるまの活動が行政から信頼され、つながりができている。
- ・ ニュージーランドの地震では荏本先生の紹介で研究者にインタビューできた。
- ・ 地域での行政との協働事業で、先生の講演や現地調査が行われ、お世話になった。

○防災塾・だるまへの期待と提案

- ・ だるまは変わっていかねばならない。会員と学生と一緒に活動できないか。
- ・ 地元で活動すると「気候変動」や「COVID-19禍」の期待があり、活動を願う。
- ・ 同じような事故がいまでも発生している。再発防止ができないか。
- ・ 災害は生きるか死ぬかの因縁がある。何がよいか教えるのがだるまの使命ではないか。

【鷺山塾長からの総括と今後】

今日の講演で災害の歴史を学んだ。2018年にだるまに入会、活動に参加し、楽しい活動を10何年やっていていいなと思っていました。県内の地盤を調査して、災害の歴史や現地の実態を皆さんに伝えてこられた。ソフト面充実、連携構築、課題も提示されたと思います。新しい体制ではABCDサロンでの活動、連携の構築を形作り、みなさんと一緒にクリエイティブに行ければと思っています。「防災塾・だるま」通信では「名誉塾長の部屋」を書いていただいている。今後も活動する仲間としてお願いします。



感謝状贈呈



花束 贈呈



【閉会の言葉】 池田相談役

荏本先生、長年のご支援に感謝いたします。今後は健康に留意され、神奈川大学や研究活動等々先生の財産を生かした新しい挑戦を期待しています。

新体制では、活動を楽しむ原点を忘れない、小学生から中高・大学生までの防災活動を拡大しより充実していく、鷺山新塾長の「鷺」のように、大空からの視野で常に考え、過去にとらわれない新しい挑戦で羽ばたいていきましょう。

「防災塾・だるま」 人的ネットワークによる防災まちづくりを提案

荏本孝久先生 塾長退任記念講演

日時：2021年12月17日(金) 14:00~17:00
会場：桜木町おシティ6階【サクラビィング】第1研修室
参加：会場・Zoom オンライン(併用)
要申込(防災塾・だるまHP申込サイトまたは下記のGoogleフォームから)
アドレス <https://forms.gle/ZoibeC3JokQ1d6r7>

総合司会 副塾長 山田美智子
挨拶 塾長 鷺山龍太郎

第1部 記念講演
演題「市民と共に七転び八起き」
～正しく恐れて 賢く生きる～
講師 「防災塾・だるま」名誉塾長
荏本孝久氏(神奈川大学教授)
(休憩)

第2部 車座談義 参加者から一言
～「だるま」の思い出とこれから～

第3部 贈る言葉 感謝状 記念品贈呈

閉会挨拶 相談役 池田邦昭

会場地図

桜木町おシティ6階【サクラビィング】第1研修室
住所：〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1丁目1

次回：第185回総会の会 開催日時：2022年2月18日(金) 14:00~15:30 場所：未定
テーマ(1案)「温暖化した気象の情報を防災行動に活かす」 講師：樋口 誠氏 Dサロンリーダー(予定)

荏本孝久先生 塾長退任記念 懇親会

～思い出をありがとう
感謝のつどい～

～市民と共に七転び八起き～

「防災塾・だるま」の塾長として、15年にわたり本会を導かれた荏本孝久名誉塾長に感謝する集いを開催します。会員及びお世話になった皆様との交流の場になることを願うご案内申し上げます。

主催 「防災塾・だるま」有志一同

日時：2021年12月17日(金) 18:00~20:00
場所：後日ご連絡いたします。
会費：4,000円(予定)
(15日以前のキャンセルは会員をいただきますのでご了承ください)
申込：表記のGoogleフォームからお願いします。

「メンバーと訪れた思い出の地」

第18 共進丸(真鶴町)
神戸 1.17 油煙式参加
磯小谷環層(磯小谷)
女川被災地視察(宮城県)
神戸(ロープウェイ)
広島県 安芸地区の土砂災害視察